



2012日本自動車殿堂 歴史車

日本の自動車の歴史に優れた足跡を残した名車を選定し
日本自動車殿堂に登録して永く伝承します

Cars that blazed the trail in the history of Japanese automobiles are selected,
registered at the Hall of Fame and are to be widely conveyed to the next generation.

トヨタ スポーツ 800

TOYOTA SPORTS 800



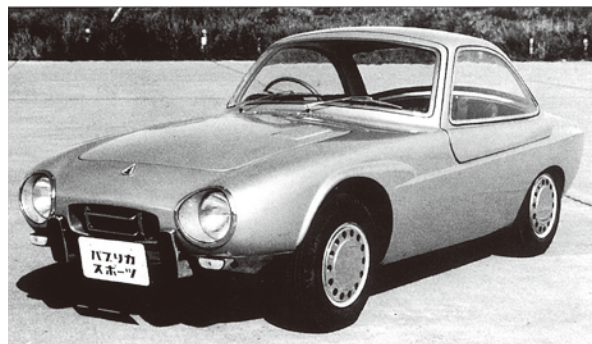
TOYOTA SPORTS 800



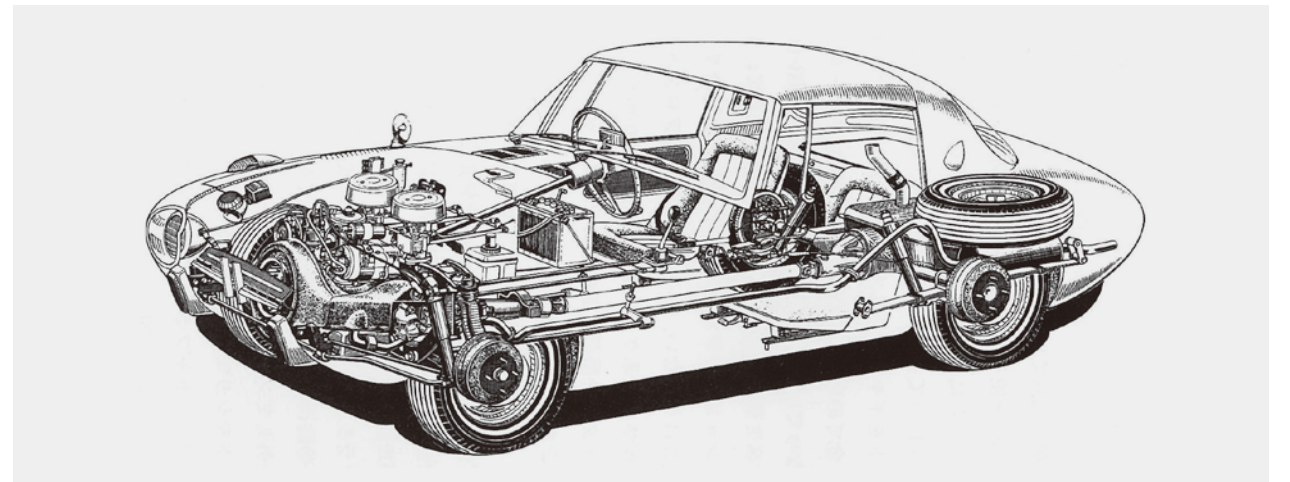
トヨタスポーツの開発にあたっては「スポーツカーをみんなのものに」という意図から出発した（『トヨタ自動車 30 年史』から抜粋）

トヨタ スポーツ800 (1965 年) 主要諸元

全 長	3,580mm	型 式	UP15 型 OHV 2 気筒
全 幅	1,465mm	エ ン ジ ン	空冷 4 サイクル
全 高	1,175mm	ボア×ストローク	83.0mm×73.0mm
ホイールベース	2,000mm	総 排 気 量	790cc
ト レ ッ ド	前 1,203mm 後 1,160mm	圧 縮 比	9.0
車 両 重 量	580Kg	最 高 出 力	45ps / 5,400rpm
乗 車 定 員	2 名	最大トルク	6.8kg・m / 3,800rpm
最 高 速 度	155km/h	燃料消費率	31km/L
最小回転半径	4.3m	変 速 機	前進 4 段 後進 1 段 2,3,4 速シンクロメッシュ
登 坂 能 力	sinθ0.464	価 格	595,000 円
タイヤサイズ	6.00-12-4P		



1962 年 (昭和 37 年) のモーターショーに参考出品された試作型パブリカスポーツ。キャビン上部は、かつての航空機のようにスライドする構造である。トヨタスポーツ 800 誕生の研究実験車になったモデルで、2012 年に当時の写真や設計図面などを元に復元された



トヨタスポーツ 800 の透視図。関東自動車が開発及び製造を担当した

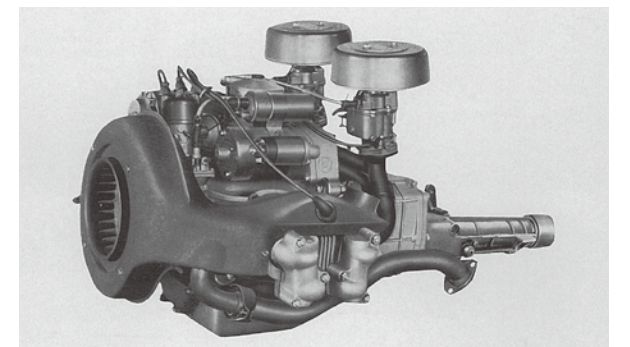
■空力性能に優れた、廉価なスポーツ800

1965 年 (昭和 40 年) 4 月、トヨタ自動車からトヨタ スポーツ 800 が発表された。このトヨタ スポーツ 800 は、トヨタの初の本格的なスポーツカーであった。モノコック構造を採用し、小型で空気抵抗の少ないボディ、ルーフパネルなどにアルミ合金を積極的に使用したことにより、車両重量は僅か 580kg と軽量であった。大衆車として誕生したパブリカのコンポーネンツを流用したため、コストは抑えられ、価格は 595,000 円と魅力的な価格であった。駆動方式は、フロントエンジン・リアドライブ (FR 駆動) であり、エンジンは空冷 2 気筒 790cc で 45 馬力 / 5,400rpm を発生、非力なエンジンながら最高速度は 155 km/h をマークしている。完全な 2 シーター仕様で、ルーフを外してオープンエアモータリングを楽しむことも可能であった。

トヨタ スポーツ 800 の誕生には、大ヒットした初代カローラを世に送り出したエンジニア、長谷川龍雄氏が開発主査として企画段階から開発に関わったといわれており、航空技術者出身の長谷川龍雄氏の知識や経験などが生かされた名車といえるだろう。

■レースで活躍した軽量スポーツカー

当時、盛んになっていたサーキットレースにもスポーツ 800 は参戦し、ライバル関係だったホンダスポーツ 600 とレースで熱戦を繰り広げている。1965 年 (昭和 40 年) 7 月に催された船橋 CCC の GT-1 レースでは、浮谷東次郎の駆るスポーツ 800 は、生沢徹のホンダスポーツ 600 とデッドヒートを繰り広げ、生沢との接触によって大きく順位を落としたが最終的に劇的な優勝を果たすという偉業を成し遂げた。



搭載された 2U 型エンジン・アッセンブリ。空冷 OHV の 2 気筒エンジンは、アルミを各部に使用して軽量だった

また翌年、1966 年 1 月の鈴鹿 500km レースにおいても 1 位 2 位を独占、1967 年 4 月に催された富士 24 時間レースにおいてもクラス優勝 (総合 3 位入賞) を果たすなど、空力や燃費に優れたスポーツ 800 は、主に長距離耐久レースでその実力を示している。“大衆向けのスポーツカー”として開発されたスポーツ 800 は、草創期におけるトヨタのモータースポーツ活動においても 2000GT と共にファンの記憶に残るクルマになった。(小林謙一)



このトヨタスポーツ 800 は、トヨタの 60 年代におけるモータースポーツ活動でも大きな貢献を果たした。また、近年話題を集めているトヨタ 86 は、FR 駆動方式と水平対向エンジンに加えて軽量なボディでファンの注目を集めているが、このトヨタスポーツ 800 と共通点がある

参考文献：『トヨタ自動車 30 年史』(1967 年発行) 他